

市長から市民の皆さまへ 市長メッセージ

4月となり、令和4年度がスタートしました。入学・就職などの新たな門出を迎えられる皆さまに、心からお祝いを申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症は、3月21日で「まん延防止等重点措置」が全面解除され、市内でも陽性者の発生が減少傾向にあります。今しばらく、引き続きの感染予防対策の徹底などが必要です。

ワクチン接種は、「3回目接種」と「5～11歳児の接種」を希望される方が円滑に受けられるよう鋭意進めています。「3回目接種」の集団接種は、4月からニーズの高い金・土曜日の接種回数を増やすとともに、「武田／モデルナ社製」に限定していたワクチンを、国の供給見通しを踏まえ、4月の日曜日の接種を「ファイザー社製」とし、接種の加速化を図ります（詳しくは3頁参照）。また、市内経済対策として、「3密を避けた市内飲食店利用推進事業」「住宅・店舗・施設改修助成制度」などを4月から実施します。市内店舗・事業所の積極的な利用をお願いします。

さて、令和4年度の市政運営の方針は、「コロナへの万全な対応と豊かな田園都市の実現に向けた着実な一歩」です。新型コロナへの対応はもとより、「(1)子育て環境・教育の充実」、「(2)高齢・障害福祉などの充実」、「(3)豊かな田園都市を目指したまちづくり」、「(4)信頼される市政運営」を柱に取り組みます（主な施策は6～11頁に記載）。

(1)としては、①通院医療費助成の小学6年生までの拡大（10月～）、②待機児童対策としての保育士確保対策や「洛和みずのさと保育園」の4月開所、③少人数学級などによるきめ細やかな教育の展開、④全中学校における自校方式での給食の実施（9月～）、⑤返還免除型奨学金制度による学業支援に取り組みます。

(2)としては、①8050問題などの世代や属性を超えた

課題の解決に向けて、生活支援相談課を中心に関係機関や民生委員・児童委員などとの連携強化を図るとともに、②「認知症高齢者等個人賠償責任保険事業」を実施し、本人やご家族の皆さまの不安や負担の軽減を図ります。また、③地域公共交通の「もーりーカー」を4月から、介助者の同乗を可能にするとともに、乗降場所の追加や学区制の撤廃など、一層便利に利用できるよう制度を充実します。

(3)としては、①JR守山駅東口における榊村田製作所の研究開発拠点整備に向けた関連の取り組みを引き続き進め、②市民協働を促進する観点から「チャレンジ応援事業」（書類審査で3万円を上限に支援）を創設するとともに、「ふるさと納税」を活用した市民団体などへの支援（募集は令和4年度～、交付は令和5年度～）を実施します。また、③北部地域における「図書機能・コミュニティ機能」の整備として、速野会館の増築などに取り組みます。

(4)としては、①「新庁舎『つなぐ、守の舎』」の整備を令和5年9月の暫定供用を目指して進めるとともに、ICTを積極的に活用し、市民の皆さまが「待たない、書かない、行かない」庁舎を目指します。また、②消防団員の年額報酬・出勤報酬を充実するとともに、自治会が整備される消火栓関連装備品の購入にかかる補助率を引き上げ、防災機能の強化を図ります。

令和4年度も、市民の皆さまと力を合わせて、活力ある「住みやすさ日本一が実感できるまち 守山」を目指して取り組む所存です。引き続きのご支援ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

なお、4月で開所1周年を迎えた「もりやまエコパーク」は、4月17日（日）に1周年イベントを実施するほか、4月29日（金・祝）に、グラウンド・ゴルフ場、複数の遊具を設置した遊びの広場、約1,000本のバラを楽しむことができるバラ園がオープン予定です。ぜひ、お越しください。

守山市長 宮本和宏

「第5次守山市社会教育・生涯学習まちづくり基本計画」を策定しました

☎社会教育・文化振興課 ☎・☎(582)1142 ☎(581)2733

守山市社会教育委員会議で「第5次守山市社会教育・生涯学習まちづくり基本計画」について議論いただき、3月に策定しました。この計画は、社会教育・生涯学習がまちづくりの原動力となり、人が輝き地域が輝く守山の姿を目指すものです。

「まなび よころび わかちあい」を基本理念とし、市民の皆さまと行政が一体となって、社会教育・生涯学習によるまちづくりを推進していきます。

詳しくは、市ホームページをご覧ください。

重点項目

- ・子育てと家庭環境の充実
- ・ICTの進化に応じた学習の推進
- ・多様なネットワークを利用した家庭教育支援
- ・青年層の育成・地域活動への参画
- ・青少年赤十字精神による市民活動の推進



ホームページ

